

町政を問う 一般質問



月尾純一郎 議員

環境問題とは環境教育問題であるべき

施政方針のなかで、「大津町の美しく素晴らしい自然環境を守り、子々孫々まで継承できるような施策を推進する」と言うが、その要諦は人材育成の中にある！。①「環境の森構想」は環境教育構想であるべき。②町内外の子ども達に水源の大切さを教えるという点に於いて、大津町は県のモデル地域となっていく考えはないか。

武田教育長

環境教育の充実を まします

も強力な環境教育は推し進めていかなければならないと思います。今、各学校のなかで、何か一つだけでも環境につい

ては地球温暖化の問題、あるいは外国における酸性雨の問題、二酸化炭素の問題等、我々がいつでも誰でも考えていかなければならないと感じています。その意味で学校に於いて

取り上げていくことにしています。大津町には、矢護川

や瀬田裏等環境教育に適する場所が広くあります。約二百ヘクタール以上の原野があります。町でも環境の森・構想



矢護山植林

で取り組んでいます。これら教育とつなげて、総合的な学習の時間等のなかで取り上げていくなど、今後環境教育がますます充実するよう取り組んでいきたいと考えています。

大津町を日本一子育てに夢もてる町に

子どもや子育てをめぐる状況は厳しさを増すなか、地域が一体となった子育て支援の充実が叫ばれる。シルバー人材センターに「子育て支援事業部」の設置を！ ①保育園の園長OBや保育士の資格を持つメンバーで、「一時預かり」や「在宅子守り」「イベント型子守り」といった保育サポート事業をしていく考えはないか。

家入町長

子育てに対するシルバー人材の活用については、現在熊本市で実施されています。大津町では二百二名の会員のうちの保育士等の資格を持った人を実施しています。今後の急速

安心と安全の住環境の提供を！

町民の一人ひとりが本当の意味で住みよいと思えるまち、生活がより豊かで便利なまちづくりの一つとして、①北出口団地の各戸のドアチャイムの総点検を ②各戸の部屋番号を分かり易いものに ③団地内の全ての側溝にフタを ④北出口団地より室小学校への通学路の拡幅を。

家入町長

北出口団地は建設後三十年が経ち、老朽化も進み早急の改修対策が必要であると考えています。平成十五年に公営住宅ストック活用計画を作り、既設の公営住宅の改善を進め

高齢者の豊かな知識 と経験を生かし

な高齢社会のなかで、高齢者の方の培ってこられた豊かな知識と経験を生かし、多様な就職ニーズにも的確に対応した就業機会の確保にもなると思います。高齢者自らが地域のためにになりたい、役に立ちたい、働きたいとの思いを生かせるよう、シルバー人材センターに子育て支援事業をお願いしていきたいと思えます。

地元の皆さんの声を 聞きながら

保したがいいかなど入居者と協議しながら考えていきたいと思えます。通学路の問題は地域の子どもたちあるいは昭和園へのアクセス道路でもあり、地元から改良も出ています。改良の必要性は高く、通学路の安全面を考慮し、今後の道路整備計画の中で位置づけていく必要があると思えます。

将来の合併は必要と思う 当面は町民対話で 町づくり

家人町長 菊陽町との関係を考えると歴史、文化や水道事業や交通アクセスなど深いつながりがあります。十三年度に実施したアンケート調査

では菊陽町を含んだところの合併が八十四%の数字に出ています。私も合併に対する考えは将来さけて通ることのできない重要な問題で、合併は将来必要と思います。しかし、それまでは大津の良さを掘り起し地域づくりや強い行財政を築きながら、町民の考えを大切にしながら、まちづくりを今後進めていきたいと思っています。

町の将来はどつあるべきか

合併特別措置法の期限が迫るなか、西合志町と合志町は来年三月までに合併し合志市が誕生するのは確実視されている。さて我が町はどのような選択をすればよいのでしょうか。合併が単独かを決めるのがこの四年間だと思つ。合併するならば菊陽町との二町合併こそ多くの町民の方が望んでおられるのは過去の調査で明白である。民意が示されているわけですからその実現に努力するのが我々の責務と思つが町長の考えを問う。



田代 國廣 議員

子育て支援の 町の務めは

子育て支援の先進地として全国から視察に訪れているが、入所したくても入所できない保育の現状をどう説明するのか、子育ての町大津を標榜するならば少なくとも幼児保育には完璧に対応するのが子育ての町大津としての務めと思つ。町長は施政方針で「日本で一番子育てに夢が持てる町を目指す。」と示されました。この言葉が現実となることを期待してやみませんが、具体的にどのように取り組みめるのか伺いたい。

桜丘団地集会所建設の町の対応は

集会所はどの地域にとつても重要な施設である。特に新しい団地においては団地の歴史を構築するためにも集会所の果たす役割は大である。子育て支援の場としてまた、高齢者の方々の憩いの場として等々集会所の必要性を痛感されておられる地区住民の方々の、悲願とも言つべき集会所建設に町は積極的に、対応する



日本で一番子育てに夢が持てるように

集会所は地域の拠点 できる方向で 検討します

家人町長 現在町には公民館、集会所、研修センター等計六十六施設あります。しかし

考えはないか、町長の見解を求めるものである。

定員増も視野にいて待 機児童の解消に努めます。

家人町長 私は今やっている事業を総合的な相談に応じて情報提供するコーディネートサポート事業や子育てサポート事業の充実や休日保育、延長保育の充実を図ってまいります。保育園の新增設については、現在五つの保育園がありますが私立四園の経営とも関連しますので私立の方々と相談しながら検討しますが、定員増も視野にいれながら待機児童の解消に努めてまいります。

新しい地域においてはその数は少なく、全くない地域もあります。集会所は地域の活動の拠点であり大変重要な役割を果たしております。用地関係がネックになっておりますが十分地元の方々といろいろな方々のご相談しながら、振興計画に盛り込み今後内容を検討しながら、できる方向にやっていきたいと思っております。

団地東線は17年度供用開始に努力 北側道路は砂防指定もあり協議します

家人町長

① 国土交通省との協議で団地東線のルートと安全面を確保するため、団地大通り一号線に右折レーンを設け、渋滞等の様子を見ることになりました。

現在、国土交通省とともに用地交渉を行いながら、国道四車線化と同時施工で取り付け

② 団地北側道路について「即造りましょう」という話をしましたのは確かです。当初、私も河床路でいいんじゃないか、という思いでしたが、砂防指定の関係で簡単にはできないらしく、今後、県や関係機関と話し合いをしながら、どういう形でできるか検討して、振興計画に上げながらすすめます。



安永美智男 議員

吹田団地東線の開通の遅れは？ 団地から北側道路の状況はどうか

① 大津東区吹田団地東線の供用開始はなぜ遅れているのか。国土交通省に極力頑張っていたが、町当局もなお一層の協力を示して一日も早く開通させることはできないか。

② 団地北線について、団地住民の永年の夢である裏通り線と言いましょつか、現在の猪郷谷林道を拡幅し、ミルクロードに接続すれば延長一・五キロメートル足らずで、相当便利になる道路建設の事業に取りかかるのはいつ頃になるかお尋ねします。

スポーツの森運動公園を便利に

① スポーツの森・運動公園にJR駅建設をと区長会も陳情されています。昨年も調査費も計上しており、その後の進捗状況は。② スポーツの森・運動公園周辺の道路網の整備が必要であると思いますが。③ スポーツの森・運動公園の東側に百台ぐらいの駐車場を建設することはできないかをお尋ねします。

新駅設置の許可は厳しい 東側道路は地元と協議検討

家人町長

① 新駅について 調査検討結果が出れば総務省の認可は難しいようです。

② 東側の町道八迫線について、全延長が約千六百メートル、うち千四百メートルが未改良の状態です。今後地元地域の皆さんと十分話し合いながら、試算では毎年約

選挙はフェアでなくてはならない

大津町において、最近特にフェアでない町長選挙、町議会議員選挙になった。ただでさえ政治不信である。今後ますますエスカレートするのではと危惧している。選挙管理委員会において、今後どう指導、啓発されるのかお尋ねします。

選挙の充実に努め 公報の導入を検討します

宇野選挙管理委員会書記長

最近、選挙の度に、ご指摘のビラ配布（差出人不明文書）とか、戸別訪問、名刺配布の件等々様々な苦情が寄せられています。選挙管理委員

会は、すべての情報を大津警察署の刑事課と連携を取りながら、相手方が確認をでき、違法行為には警告を行っています。

今後、更に説明会時の啓発の充実に努めながら、四年後の選挙からは選挙公報の導入を検討することになりました。

から振興計画の中で検討します。

③ 公園内には四ヶ所八百五十台の駐車場があり、その他臨時駐車場合わせて千台は駐車できます。一日平均利用者が五百人の状況から機能は果たしているものと思います。大きな大会のときなどは、強く駐車場の誘導指導をしていきます。

町民のための 墓地建設に援助を

大津町住民となって二十年、三十年になり墓地がほしい方が多くおられる。町としてどのような手助けができるかお尋ねします。

許可のための 相談を行います。

家人町長

墓地の設置経営は県が許可することになっております。許可の基準としましては、墓地の必要性や需要、経営の持続性や非営利性の確保などが問題になってきます。県のアドバイスをいただいきながら相談させていただきます。

生活基盤整備について、
安心安全に暮らせるまちづくりを目指すため、公共施設や医療機関などへの交通

共に理念を共有できる 町民のための町づくり

町民主体のまちづくり施策について、住民自治の実現、民主主義の実践という理念を確立するために「まちづくり基本条例」の制定を目指すとして述べておられます。また、住民が主役のまちづくりを実現するために、まちづくりに関する基本的な事項を定め、町民の権利と責任を明らかにすると述べておられます。まちづくりに関する基本的な事項及び町民の権利と責任とは具体的にどういふことが説明していただきたい。

町づくり基本条例を問う



吉田 忠道 議員

公共交通基本計画を問う

まちづくりの目指すところは住民自治の実現であると思います。そのためには、町民と町があらゆる情報を共有し、相互理解を深め、協働してまちづくりをしていくことが一番大切ではないかと

手段を確保するために、「公共交通基本計画」を作り、子どもや高齢者などの交通弱者への対策を進めると述べておられます。「公共交通基本計画」とは、一体どういふ性質のものであるか説明していただきたい。なお、電動車椅子を使用されている交通弱者の通路、安全の確保が不十分であり、早急な対策が必要であると考えます。

道路ネットワークの整備 に着手します

家人町長

生活基盤整備について、本年度は総合計画の策定の年であり、計画の中で町における鉄道機能やバス路線、道路ネットワークの整備等交通体系全般について検討することになります。今回公共施設や医療機関等への交通手段を確保するために、既存のバス路線の見直しも含めて「公共交通基本計画」の策定に着手いたします。電動車椅子利用者への道路整備、安全

大規模防災 訓練が必要

確保について本計画ではなく、振興計画の中で道路整備関係で検討すべき課題と認識しております。

災害対策に関する施策について、自治体の長は、住民の生命、財産を守ることが大きな責任の一つであるが、安心安全に暮らせるまちづくりとして、災害対策について一言も述べておられないのは極めて残念である。昨年十月の新潟県中越地震や平成七年一月の阪神・淡路大震災に見られるように、災害はいつ、どこに、どのような形でやってくるか分からない。被害を最小限に食い止めるためには大規模な訓練が必要である。防災訓練の現状、問題点、対策を問う。



総合防災（消火）訓練

住民参加型の総合 防災訓練を実施す

家人町長

防災訓練の現状及び問題点、その対策について平成十六年度から町内全域の行政区でミニ特区事業の必須事業として防災を組み合わせています。一方、十六年度から三年計画で大津町の取り組みとして、町、消防団、区長会、消防署などと協議会を立ち上げ、南部地区特に東小校区を中心に住民参加型の総合防災訓練を実施しました。本部設置の問題、一人暮らしの老人世帯のプライバシー保護、避難誘導等の問題があります。より良い防災訓練にしていきたいと思っております。



総合防災（救助）訓練

町民の様々な考え方を理解・整理 共有化を図るため条例を制定したい

家人町長 条例制定の前に、具体政策を示し、リーダーシップを発揮すべきである、とのことですが、誠にそのとおり、大事なことだと思います。ただ私の現時点での考え方は、まず町民の方々の考え方をじっくりと聞かせていただきたいということですね。

今年度、確かに魅力ある具体的なものや数値目標は示しておりません。町民にとって魅力ある政策と申ししても、町民の考え方は十人十色、百人百色といわれるとおもいます。一部の町民に魅力があっても一部の町民には魅力がないと思われる政策もあるわけです。

そこで対話を通じて町民のまちづくりに関する様々な考え方を理解し、整理し、共有化を図っていくことが今私に、

行政に一番求められているものと考え、条例制定を目指すものです。

**必要性・我慢・辛抱も話し合
いできめ、財源を検討**

町の財政は大変厳しい状況ですが、今年度は交付税の見込みもつかないほど素晴らしい企業の頑張りが今、大津町にあります。

十六年度までにおいて、例えば健康センター、防災避難所、駅前楽善線の道路問題と

か、またプール要望とか、いろんな大型の事業が言われてきました。それを今回は白紙の状態でお願ひし、十七年度予算には上げておりません。

これにつきましても住民の皆さんの意見を十分聞きながら、必要であるもの・ないもの、我慢するもの・辛抱するものについてどういう方向で順番を決めていくかをお聞きしたいと思います。

私初めでの選挙を体験いたしました。私を応援していただいた方々には、私のまちづくりに対する考えに共鳴し、応援していただいたものと思っておりますし、正々堂々と清潔な選挙をしたつもりでございます。「しがらみ」はなくとも町長とのつながりはあります。それは私を応援していただきました一部の人たちとのつながりというよりも、全町民に対してのつながりがあります。

まちづくりにには全町民の方が積極的にご参加いただき、協力し合いながら進めていかなければならないものと考えております。

そのためにも、町民との対話を進め、議会とも十分連携を取りながら、公平公正な行政に努めていきます。

まちづくり基本条例の前に町民が

共鳴できる政策を示すべきでは

住民が主役のまちづくりを実現するために「まちづくり基本条例」を制定し、町民の権利と責任を明らかにすると言われるが、主役である町民が共鳴できる政策を示すのが先ではないか。

条例の制定やルールづくり、これは所詮脇役であると思う。政治家である町長に町民が求めるものは、魅力ある政策とリーダーシップである。



永田 和彦 議員

町長選挙について

町民の多くの支持を得て家人町長が誕生したが、選挙の検証と今後の町政を考えると、問題点として残るものがある。

それは多くの不審なビラ等により町民が清潔な選挙ではなかったと感じているということ。また、町との契約請負業者が腕章をはめてまで家人町長を応援された。これは自由であります。現在請負をされている業者の



方々と、町と関係がある業者の方々が応援されるとなると、かなり親密な関係が考えられ、今後の町政のしがらみが生まれるのではないかと懸念が生まれないか。

正々堂々と清潔な選挙をしたつもり 公平公正な行政に努めていきます

家人町長 私初めでの選挙を体験いたしました。私を応援していただいた方々には、私のまちづくりに対する考えに共鳴し、応援していただいたものと思っておりますし、正々堂々と清潔な選挙をしたつもりでございます。「しがらみ」はなくとも町長とのつながりはあります。それは私を応援していただきました一部の人たちとのつながりというよりも、全町民に対してのつながりがあります。

十分な話し合いですすめる 地域の意見、要望、提言など 確実な把握に努め

家人町長
 ① 条例のなかで町民の責任と同時に行政の責務も明らかにしたい。大事な問題での住民投票、選択権の保障については、議会制民主主義との関係もござ

② これまでの町の事業計画取り組み方について十分反省の上立ち、今年度の予算は白紙の状態でじっくりと町民の方々のご意見を聞きたい。ミニ特区を活かし、役職員アドバイザーを通して町民の皆さんへ情報を提供し、地域からの意見、要望、提言などを確実に把握するように努めながら、町全体の計画作成をすすめたい。

① 「まちづくり基本条例」は町の憲法にあたる。権力を持つている行政こそ、その責務をはつきりさせ、立つべき姿を町民に約束するべきでは。
 住民投票権が保障されなければ、本当の意味での住民自治は前進しないのでは。
 ② 町づくりの主役は町民である。誇りの持てる町づくりのためには、住民の話し合い、住民参加のプロセスが大切ではないか。

これからの町づくりについて
 まちづくり基本条例の考え方
 主役は町民・住民参加のプロセスが大切では



荒木 俊彦 議員

県内一番の財政力がありながら必要なところに計画的な事業がなされてこなかった。特に公立高校が一つもある文教都市としての財産をどう活かすか、中心市街地の活性化イメージを問う。

文教都市としての財産を活かした中心市街地のイメージは？

近隣の町との保育料比較 (荒木議員調査)
 (3才未満児・3才以上の児童二人保育)

階層	保育料年額(円)	大津町	近隣の町
町税均等割のみ	母子世帯	198,000	180,000
	一般	216,000	198,000
町税所得割課税	母子世帯	270,000	222,000
	一般	288,000	240,000
所得税1万円未満		378,000	342,000
所得税1~6.4万円未満		504,000	432,000
園数と定員(右は菊陽町)		5園450人	8園600人
充足率(定員/幼児人口)		24.3%	31.1%

「日本一子育てに夢が持てる町を目指す」であれば郡内で一番高い保育料金を直ちに引き下げざるべきではないか。保育料を郡内三町と比較して一番安いところに合わせたら財源がいくら必要か。
 「保育所に入れない」悩みの声が寄せられている。足りない保育所を真剣に考えるなら、特に町中心部に保育所が必要ではないか。

日本一子育てに夢が持てる町にふさわしく
 保育料の引き下げ
 足りない保育所の解決を

若者や子ども連れの家族が集まるような市街地を考える

家人町長
 過去の事業の進め方を検証してみますと、行政、商工会及び地域地元商店街が一貫したまちづくりビジョンを描ききれず、まとまらなかったことが原因の一つでは。
 中心市街地が活

新たな財源が1,500万円必要 私立園の経営者とも相談し検討します

松岡福祉課長
 郡内で一番安い保育料にするためには、プラスの千五百万円くらいの財源が必要になります。(現在町の持ち出しは四千万円)

家人町長
 保育料につきましては、議員が心配される若い世代の低所得世帯の方々については、大変厳しい状況であるのは確かであります。町における保育園の内容等も検討しながら他の町とも相談しながら検討していきたい。

新たな保育園を町の中心街に造りなさいというご要望ですが、私立保育所、幼稚園等の経営も心配されます。できるものならば造りたいが、経営を圧迫するなど問題があれば、街中に移転ができるかどうかなどを相談し、解決に向けて努力します。

性化した例のほとんどは、特に若者や家族連れが多く集まって来るようになったことが要因に上げられるようです。ご指摘のように二つの県立高校と中心街の近くに小学校もあり、これらの若者や子ども連れの家族が中心地に集まってくるならば、一変して活気を取り戻すのではないかと考えております。



坂本 典光 議員

北部地区の公共交通

◆真木
◆杉水
◆菊池方面

①真木地区には現在、公共の交通手段がない。子ども通学も朝はスクールバスが利用されているが、下校時はタクシーで帰宅しているのが現状とのこと。高齢者は、病院への通院、商店街への買い物にも不自由をしている。現在、熊北産交バスが、大津〜平川〜矢護川〜旭志〜菊池のルートで運行されている。この路線を少し変更して、平川〜真木〜矢護川ルートにしてもらいたいという地元からの陳情も出されている。このように既存のバス路線を変更する方法もあるし、町営の巡回バスを走らせることも考えられる。早急に対応すべきである。

②赤字のため平成十八年二月で大津〜山鹿間のJRバス路線を廃止するとJRは発表した。赤字分を関係市町が補填したとしても、存続させるつもりはないとしている。同路線は、山鹿市から大津方面と瀬高方面の間を往復し、それぞれ一日二十五〜二十六便を運行、南関、三加和、七城、菊池、旭志、大津の旧市町村を通過、主に県立高校生の通学用利用されている。杉水地区あるいは菊池、山鹿方面への公共交通手段がなくなることであり、大津町民にとって大変な問題である。産交バス、電鉄バスなど他のバス会社に切り替えるなり、町営の巡回バスを走らせるなどの対策が早急に必要である。

家入町長

真木地区の件ですが、現在熊北バス路線（大津〜平川〜矢護川〜菊池）が八往復走っておりませんが、真木方面へ延長すれば二百三十万円程度の町からの赤字補填や乗務員の配置、新たなバスの購入など多くの負担増につながることになります。

12月までに結論

真木地区の件、JRバス廃止の両方に共通して、路線バスの実態調査による生徒の通学、併せまして各行政区を回り、街中の主要施設であります病院等への交通手段を確保するためには今後、巡回バスの運行がよいのか、あるいは外出支援サービスの充実の方がよいのか、いろんな方策を今後住民の皆さんと十分話し合いながら十二月までには町の方向性を出す予定です。

立て直せ岩戸の里温泉

家入町長

岩戸の里温泉の経営状況はかならずしも良好とは言えない。当温泉の社長を兼任する町長が中心になり、経営を立て直すべきである。

生かせ送迎バス

入館者数は平成九年の三十七万人から平成十五年の二十万人と減少しております。売り上げは十五年の決算で累積約七百万円の赤字になっております。このような状況を打開するため平成十六年度の四月から新しい支配人を迎え、従業員一丸となった経営改善に取り組んでまいりました。

入館者数は平成九年の三十七万人から平成十五年の二十万人と減少しております。売り上げは十五年の決算で累積約七百万円の赤字になっております。このような状況を打開するため平成十六年度の四月から新しい支配人を迎え、従業員一丸となった経営改善に取り組んでまいりました。バスの利用におきまして、主にグラウンドゴルフパークというようなコース、宴会



廃止予定のJRバス

六年九月から二月末までの状況につきましては、百三十五回の送迎で二千四百四十九人のご利用をいただいております。今後もバス利用のパック関係等のご利用客の誘致に頑張っていきたいと思っております。

教育行政について



鈴木ムツヨ 議員

今なぜ二学期制なの

平成十六年度、大津南小学校と大津中学校で一年間だけの試行期間で二学期制への実施は時期尚早ではな
いかと思う。熊本県では、
産山村だけの取り組みのな
かで百三十年の歴史がある
三学期制を今年から止める
メリットは何か、またデメ
リットはないのか。モデル
校以外の保護者、児童、生
徒、教職員のアンケートへ
の取り組みはなされたので
しょうか。全町立幼稚園も
含まれるのであれば住民説
明会も是非開かれるべきで
あったように思います。

武田教育長

平成十年ぐらいいから、学校教育法というのが改正され学

最大のメリットは授業時間が最低10時間増えること

期を市町村教育委員会で決めることが認められました。南小と大津中で二学期制の試行をしていただき子どもや先生のアンケートでも大半が二学期で問題ない、よかった、あるいはこのままでいいだろうという意見がありました。最大のメリットは最低十時間は授業時間が増え、数学、国語等が一時間でも二時間でも多くできることです。その間ゆつくりした感覚で先生が子ども達に授業をすることができると思います。デメリットは、通知表が一回減り保護者が心配されているので夏休みに二者面談、三者面談をやりながら単元ごと

のテストの結果、あるいは普段の生活状態を伝えていきます。

小・中学校に於ける臨時や嘱託職員の四分の三勤務と一年契約について

ここ数年来学校内での殺人事件が起きている状況で午後三時迄勤務と一年契約は、児童、生徒、保護者にとっても、また防犯の面から言っても大変不利益と思われるのがいかがお考えでしょうか。

武田教育長

十四年に県の行財政指導で十五年より非常勤職員、嘱託職員は四分の三の勤務時間として順次臨時職員になっていきます。五時迄いて欲しいと言



大津小 知的障害児学級 三年三組

学校長とも相談してすすめていきます

うのは、人事担当があるいは学校長と相談を進めていきます。一年間の雇用は本人が望めば翌年度も雇用しております。

ティーム・ティーチングについて (T・T)

十六年に引き続き三年・四年・中学校での取り組みまた、一人増やされることはとても良い事と思うが、小学一年生は四十五分間をじっと座っているのが困難な児童が結構おられるように、授業の成立が難しいようです。一人ひとりに確かな学力をつけるためにも、低学年にもT・Tの配置を要望します。

大津町の教育予算が少ないのではないかと質問 (鈴木議員調査)

中学校名	生徒数 (人)	消耗品費 報償費 印刷製本費 (円)	(円)		教材備品 購入費 (円)	(円)	
			1学級当り	1人当り		1学級当り	1人当り
大津	546	3,848,000	213,778	7,048	790,000	43,889	1,447
菊陽	536	3,823,000	238,938	7,132	2,098,000	131,125	3,914
西合志	740	7,586,000	329,826	10,251	2,500,000	108,696	3,378

町長と相談し検討します

「小一プロブレム」という流行語も出ましたように、小一が一番問題が大きい。やはり一年生は、基本的な生活習慣をきちっと身につけていけば良いのではないかと思います。必要だと思います。町長と相談しながら進めていきます。

武田教育長



農耕車に迷惑（東側道路）



大田黒英生 議員

吹田・八迫線の整備を早急に 特に運動公園東側に駐車場整備が必要では

① この道路は、乗用車が一台通るほどでカーブも多く見通しが悪く、夏の大雨時は畑等の土砂が流出堆積し人も車も通行不能な状態になります。新しく体育館も完成し利用の多い道路となり早急な、拡幅整備の考えを町長に聞きたい。
② 運動公園東側道路は大会の度に迷惑駐車があります。特に畜産農家の機械は大型であり大変困っている。東門は近くに駐車場の整備が必要ではないでしょうか。

八迫線のうち運動公園東側を 早急に拡幅整備を計画したい

家人町長
① 町道八迫線（運動公園東側の南北海道）は、南にある上井手の橋も、相当老朽化し、瀬田駅から山村広場、運動公園へのアクセスの道路についても整備が必要ですが、ミニ特区のなかで十分話し合いをしていただき、順番関係等を決

役場職員の退職時特別昇給全廃の考えは

国はこの制度を昨年五月に全廃し各自自治体にも廃止の要請をしており熊本県も今年度廃止を決定。甲佐町も廃止。熊本・人吉・上天草・本渡の各市、御船・津奈木の二町も今年度廃止を決定。普通交付税ゼロとなる見込み中、当町も財政はきびしい。この制度に対する町長の考えは。

一般退職は廃止 勸奨退職は行政改革で検討します

家人町長
大津町の退職時特別昇給の状況は①一般職員が二十年以上勤務して退職する場合、特別昇給はできるという規定。②職員の新陳代謝と年齢構成の適正化を目的としての勸奨退職（定年前退職）の優遇措置があります。
①の制度で、定年退職時の特別昇給は十一年度から廃止。また途中退職者についても十四年度から廃止をしています。
②の勸奨退職の際の優遇措置は、職員の新陳代謝や人件費の抑制にも有効な方策ですが、住民感情としてどうか行政改革大綱の中で、検討します。

めていきたいと思っています。
② 運動公園の駐車場は現状で間に合っていると思いますが、八迫線のうち公園東側の周囲道路沿いに九十台ぐらいのスペースがあります。またともに東西に停めればちよつと車の後ろの方が出るということで、農作業関係等に大変ご迷惑をかけています。
道路幅員の幅を相当取ってありますので、そのところを

拡幅整備すれば、若干問題も解決するんじゃないかと思えます。この整備については緊急にやるべきであり、十八年度の事業関係等に取り入れる方向で検討します。
そうすることによって、運動公園の北側駐車場の方へ駐車できる利便性も出るのです。状況を見ながら、今後新たな駐車場が必要かどうか検討します。

本田技研南側道路を通行止め にして桜まつりの考えは

道路沿いに約百七十本程度の桜が植えられ、満開の時には素晴らしい桜並木となっております。観光資源に乏しい大津町にこの桜を活用し、一日または半日でも通行止めにして、町民に開放し桜まつりの計画の考えはないか。

当面交通規制はむずかしい PRに努め観光資源に活かしたい

家人町長
町では桜の開花情報を防災行政無線で町民の方々にお知らせするなど、桜をPRしているところです。が本田技研南側道路を取り巻く道路環境は、大型トラックなどの運送車両が行き交いする産業道路であり、交通規制が難しい場所でもあります。
三吉原北出口線の全面供用開始などの道路整備が整えば混雑も解消されることが予想され、イベント開催に向けての条件が整うのではないかと、課題が解消されたときに、桜まつりとしての歩行者天国の取り組みについて検討していきたいと考えています。

排水問題の解決から

題につきましましては、今、検討しながら早目にやっていかなくてはと思っておりますし、通

家入町長 地域住民説明会を開催し、道路変更の意見を聞いているところであり、いろいろな検討も行って事業費も巨額になるようです。地権者、地域住民の協力があれば進めたいと思います。雨水に対する問題

大津駅・楽善線の新設計道路は

十分な機能設計を検討して

町の縦横道として、大変重要な道路となるが、地域住民には納得できる様に十分な説明をし、難問である楽善食堂前の雨水の増水による排水問題と通学路に対する機能が検討されるべきではないか。



新開 則明 議員

家入町長

学路についても十分地元と相談しながら町道との取り付けも検討していきます。

上井手工事と塘町線環境整備について

上井手が増水した時、水害対策は安全なのか、また、参勤交代の道路らしさが再現できて、通学路としても美しくなったが歩道・車道の使い分けは安全なのか、自然環境を守りホタルの繁殖等はどうか考慮してあるのか。

参勤交代道の散策を

崩落や通水機能を考慮した構造になつており町中心部の安全の向上を図っております。また道路の幅員の拡張が厳しい状況にあり、歩行者の安全のため舗装を色分けしています。運転者、歩行者が注意し合つて通行をお願いしたいところ。自然環

家入町長

県において調査され堤防の



町道 塘町線環境整備工事

後継者になろう

台湾や中国にも電話で聞いてもらった結果今、蓮草紙を探するのは困難なようです。蓮草紙が、ある、ない、で考え蓮脱木を運動公園、南の上井手沿い空地に植えて成長過程を調べたいと思います。後継者育成に

教育長

貴重な町の伝統工芸品である梅の造花の生命とも言える紙が入手出来ず、いかにして後継を育成し継承していくのか、蓮脱木(紙の原木)を栽培して紙の生産を考え行政は台湾や中国の情報提供に全力を上げて欲しいと思うが。

梅の造花・伝統工芸の継承を

境への配慮、ホタルの繁殖には、床張りはせず、完全水止めを行わず動植物への影響を極力少なくする対策を行っていきます。

地域おこしに参加しよう

各地の伝統行事などの復活、新しい行事などが誕生し、地域交流や、ふれあいのきっかけになっているのは確かです。今後地域の皆さんと情報提供し、町内・町外にも知らせ、周知を図り三年後についても十分検討していきたいと思っております。

家入町長

地域の特性を生かした伝統行事等は評価できるものがあつたのではないかと、三年間と言う事だったが、その後はどんな取り組みになるのか。

三三特区事業

について

つきましては、小学生・中学生にも勧め総合的な学習の時間に講習会をしながら一人でも二人でも多く後継者として興味を覚えられたいと思います。



手嶋 靖隆 議員

都市計画マスタープランに伴う

地域幹線道路の整備進捗は

平成十二年に都市計画マスタープランが策定され、短期事業としてプログラムを設定されているが、いまだに地域幹線道路において着工、完成が不透明である。よって身近な生活道路として、県と一体となり早急な実践が肝要と思うが今後、事業促進の展開をされるのか所見を伺います。

家入町長

昭和五十三年に都市計画が決定しておりますが、未着手の路線を多く抱えております。今後、廃止または、変更する

都市計画道を見直し、事業の優先順位を検討します

路線、既存の路線を改修することによって代替えさせる路線等の選定を行うことが重要であると考えます。また、見直しを行う際は、住民を交えたなかでの検討を行う必要があります。また、事業

の絞り込みをすることによって今後の事業推進の展開ができると思います。このような状況のなかで、ご指摘のとおり、都市マスタープランにつきましては、そのままの計画で短期でするものと長期でするものと分けております。県でも、この事業を、進めるには、五年でやりなさいとか、いろいろな条件があり厳しい状況でありますので、地域の皆さんのご理解と、ご協力のなかで計画をつくりあげ議会と共に検討し道路行政に努めます。

美咲野団地の活性化について

美咲野団地、開発許可時に町とJRとで造成に関して基本協定が策定され、町が小学校を配置することで、用地として三ヘクタール程、造成した経緯があると聞かれますが、相互の了承の上、造成した用地が、いまだに遊休地となっている現状を踏まえて、地域の活性化を図るためにも公的利用または商施設の誘致支援の考えはないか、伺います。

家入町長

施設の誘致に努め活力ある団地に促進します

団地については、平成二年、町と基本協定を締結し、五十七ヘクタールの用地に一千百八十戸の計画がされております。しかし、バブルの崩壊と景気低迷の影響と、菊陽における大

型団地、光の森団地が完成したことに伴い三百八十戸程にとどまり児童、生徒が急激に増加しないことで当初計画しました、学校、団地についての建設の目安が立っておりません。今後、地域住民の利便性が高まる施設が出来るよう協力し、町全体の用途地域の見直しのなかで進めます。



美咲野学校予定地周辺

住環境の整備の必要性を問う

地球温暖化の影響で、突如とした大型台風が発生など雨量や気温の変化により天災も忘れたころにやってくる、これも人類に環境保全への合意形成を求められている。よって、美しい自然環境を守り二酸化炭素の削減に努めるため

家入町長

身近な所から緑を殖やす意識の増長に努めます

地球温暖化の要因となる二酸化炭素を吸収する身近な環境整備が必要との提案で生垣をということがあります。今、各地でミニ特区事業において美化運動に取り組んでおります。町民自ら緑の大切さを確認していただくことが重要と考えます。その生垣等についても日本一つつじの里を目指しております。とりあえず、つつじの活用を。



整備された生垣の風景

町民との コミュニケーションを はかっています

家人町長 職員と町民の方々の双方のコミュニケーションは大変大事な事だと思います。職員の意見は、ミニ特区のアドバイザーと言うことで、それぞれの地域に入りますので、町民の方々と職員の意見交換を十分そこのでできるものと、思っておりますので、広報紙等における職員の意見は控えさせていただきます。そのようなミニ特区事業のなかで、お互い職員も情報を出し、夢を語りお互いの町づくりについて、お願いしたいというふうに思っております。

大津広報で職員の町づくりの夢

希望を述べてもらったら

家人大津町長のスローガンであります、日本一づくりの夢、実現に向かって進まれております。行政に携わっておられる職員の方々と町民の協力がなければ実現は出来ません。大津広報と言う、月に一回町民がふれあえることの出来る広報で行政経験ある職員の方々も町づくりの夢、希望、改善提案等気付けられる事も多くあるかと思えます。町民とコミュニケーションづくりを目指してもらいたいものです。



藤森昭二朗 議員

行財政改革提言する機関を創設したら

大津町には、若い方から、人生体験ある高齢者の方々、そして、農業・林業・工業・商業等、いろいろな仕事に携わっておられる方々より形成されている。そこにはいろいろな考え方、厳しさややさしさ、耐える等、人間社会を体験された方々も多くおられるかと思う。町づくりを考えて下さる方々を、公平ある選び方で各年代・男性・女性からなる委員会を作り役場内の意識改革や事業評価等を町長に手助けをする機関を設けては。

家人町長

日本一町づくりボランティア委員の意見を町政に

家人町長 現在、町民の参加と対話を活用し住民主体による日本一町づくりについてボランティアで実施する委員会を推薦や公募で募集し、日本一魅力ある大津町づくりを目指しております。委員の構成は現在二十七名で農業・商業・自営業・会社員等の男性二十名と女性七名でございます。平成十六年九月から現在まで二十六回の会議を行い、住民の視点に立った町づくり評価表として二十六項目を町長に報告し、提言八十八項目の提案があります。役場内の意識改革を含めて行財政改革は重要な問題でございます。

自然環境を守り完全 なりサイクルを

町長は、自然環境を守るまちづくりの施政方針の言葉を述べられました。私も環境、ゴミ問題には非常に関心があります。人間が進化するには地球上の全ての動植物・物質を利用して暮らしているかと思えます。明治時代より文明社会が早まり、地球を手荒に使い過ぎで、進歩の後には破壊の繰り返しで、山も川も田畑も空から降る雨も汚染され続けていままじか、町長の自然環境問題を、聞きたいものです。

ゴミの再利用を促進しよう

家人町長

地球温暖化防止が叫ばれています。町ではその第一歩として、ゴミの焼却量を減らす為に資源物となるゴミの再利用を促進するよう平成十年より瓶・缶・古紙の分別収集を行い、更にはペットボトル、

そして十七年度からは、廃プラスチックの分別収集を行う予定です。循環型社会の形成・ゴミのリサイクルの徹底を図るには、町民の皆様のご理解とご協力をいただかなければできないことであり、昨年来、町内全域で説明会をくまなく行っております。



環境美化運動の活動風景